



## ● 4コマまんが作品 <http://4manga.jp>

由良みかん食べ過ぎ注意でしゅ

カレー焼きそば

新宮涼肉(しんぐうりょうてい)



## ● 企業キャラクターご紹介

**みやざき**

宮崎市の企業キャラクター

名前 みやざき  
誕生日 宮崎県宮崎市19日  
性別 男  
住所 宮崎県宮崎市  
性格 元気な性格、好奇心、好奇心が強い、  
情熱的な人、リーダーシップが強い  
得意な食べ物 鶏肉、  
得意なスポーツ 野球、サッカー、  
得意な言葉 宮崎弁、英語

**カスターくん**

カスターネットの企業キャラクター

名前 カスター  
誕生日 2月15日  
性別 男  
住所 東京都中央区  
得意な食べ物 焼きそば、カレー、  
得意なスポーツ 水泳、サッカー、  
得意な言葉 英語、日本語、  
得意な場所 東京都中央区、  
得意な人 カスターくん、カスターくん



## 2. 障がい者、授産施設に軽作業の発注

### ① 京都市洛南障害者授産所（京都市）

- ・京のおともだちクッキー バッキング作業を依頼
- ・マルチボンチョ 封入作業を依頼

### ② 社会福祉法人京都ライトハウス（FS トモニー 京都市北区）

- ・京のおともだちクッキー販売用 手提げ袋製作  
使用済み点字用紙で京のおともだちクッキー  
5枚入セット紙袋を発注しています。
- ・点字を活用したチラシ印刷、一筆箋の発注
- ・マルチボンチョ 封入作業を依頼

使用済み点字用紙を  
活用した紙袋



### マルチボンチョ 封入作業の依頼施設

#### ③ 京都市だいが学園（京都市伏見区）

#### ④ 社会福祉法人きょうどう（京都市下京区）

#### ⑤ 特定非営利活動法人加音（京都市右京区）

#### ⑥ You You 館（京都市北区）

## 3. SHIFT lab(シフトラボ)～社会的企業家イノベーション工房～

シフトラボは、全国の社会的企業家（福祉、教育などの問題を、ビジネスの手法で解決する組織）への仕事体験や参画を促していく事業です。弊社は、ソーシャルキャリアを手軽に試し実感できる入門編の一日仕事体験プログラム「ワンディ シフト」をフェローしています。



## 4. その他

### ① 宇治市わくわくまつり

創業時より協賛させていただいております。

### ② 京都ライトハウスまつり

2010年より協賛させていただいております。



## 社会貢献活動

### V 活動終了

#### 1. 2016年熊本地震被災地への支援物資

2016年4月熊本地震による被災地に対して「マルチポンチョ」「台車」の支援物資を現地のNPO団体と連携して行いました。

マルチポンチョ	2016年4月 6,000枚	2,592,000円相当
台車	2016年4月 10台	198,000円相当



#### 2. 過去の被災地支援物資(台車寄贈)

- ・東日本大震災被災地 宮城県石巻市、福島県へ台車を35台寄贈しました。
- ・大雨による災害被災地 京都府福知山市へ台車を10台寄贈しました。

被災地への台車寄贈		
2011年	35台	693,000円相当
2014年	10台	198,000円相当



### 3. カンボジアの子どもたち支援

#### ①トレア小学校校舎寄贈（2004年）

小学校建設資金

3,226,679円



コンボンチュナン州トレア村  
トレア小学校(6教室トイレ付)



2004年10月4日新校舎開校式



大勢の村人の  
見守りの中での  
テープカット  
です。

2008年8月カンボジアへ訪問



子どもたちに  
会いに行きま  
した。

2016年3月24日モニタリング実地  
視察結果：

- ・校舎の状態は建物に問題はなく、修理の必要はない。
- ・数年前より幼稚園クラスを開講。2016年度は幼稚園クラス及び小学校6学年の児童計302名(全8クラス)を対象に14名の教師が指導にあたっています。現在授業は全て午前を実施されており、午後は補習を希望する児童に対してのみ授業が行われている。
- ・地域住民は新校舎ができたことを同地域の子どもたちが以前と比べ良い環境下で学べるようになったことを喜んでおり、学校運営のサポートにも非常に積極的である。

最後に、学校長を中心に、教師及び児童たち皆が同校をよい学校にしようと心がけていました。校舎の維持管理が地域住民と協力して行われるなど、同地域の初等教育に対する意識の向上もうかがえました。



※FIDRの現地スタッフに、トレア小学校の現状視察をお願いしました。

「2016年モニタリング報告書」より抜粋。詳細は当社ホームページをご覧ください。



## インタビュー：



学校長：キット・ソック・チョラン氏

現在この学校はコンポンチュナン州教育局及びロレイアッピア群教育局による評価システムにおいて、2010年から2015年まで最優秀ランクの評価を受けるほど、よい学校になりました。地域の人ともよい関係性の中で学校運営ができています。



スー・チャントウちゃん（小学5年生）

学校が大好きです。特に国語（クメール語）の授業が好きです。将来の夢は先生になってこの学校に戻ってくることです。



授業の様子



休み時間

「写真提供：国際開発支援財団」



清掃の様子



果まって一緒に宿題や音読をしている姿が校内の至る場所で見られました



## ②文房具寄贈（2010年にて終了）

全国の皆さまから文房具を回収し、カンボジアの小学校へ寄贈を行いました。



## ③遊具寄贈（2007年）

“京のおともだちクッキー”の収益の一部で、滑り台・シーソー・ブランコの遊具をプレイレック・ニアン小学校へ寄贈しました。



#### 4. 京都ちーびず推進人づくり事業（2015年3月にて終了）

京都府の委託事業（京都ちーびず推進人づくり事業）をうけ、新しい仕事や働き方で継続的な地域づくりを目指す取り組み「京都式ソーシャル・ビジネス＝京都地域力ビジネス（京都ちーびず）」を推進する人材の育成に取り組みました。



##### 企業の地域づくりをめぐるシリーズ

- ① 京都ちーたび  
地元ガイドの交流まちあるき

地域コミュニティづくりや社会的課題に取り組む企業とNPOなどの団体との連携を呼びかけ、プロモーションを行うことを目的としました。

##### 働く人が地域とつながるシリーズ

- ② 京都ちーびず  
女子のイチオシ交流カフェ

- ③ 京都ちーびずマルシェ  
交流共同販売会



全36回のちーびずを実施した報告事例集  
(2016年3月発行)

#### 5. 小さな寄付活動

##### ① 山手線一周「辻立ちファンド」への寄付

(2010年6月～2011年8月)

山手線一周「辻立ちファンド」への寄付	
寄付金総額	87,000円

##### ② バス停ベンチ寄贈（京都市障害者スポーツセンター）

京都市障害者スポーツセンター（京都市左京区）敷地内の高野玉岡町バス停に、ベンチを寄贈しました。

##### ③ 町家募金（2007年）

公益財団法人国際開発救援財団へ寄付しました。

「カスタくんの町家」募金	
寄付金総額	100,000円

##### ④ 京都産業大学 カスタネットクラス 応援

2012年京都産業大学の経済学部、ゼミの学生の取り組みを応援しました。カスタネットクラスは、東北支援を実施。2012年7月レポートをいただきました。





メッセージ



## メッセージ

### I 公益財団法人国際開発救援財団

理事長 飯島 延浩様

### II 社会貢献室 顧問

1. 堀田 力さん
2. 川本 卓史さん
3. 加藤 道彦さん





## メ ッ セ ー ジ

### I 公益財団法人国際開発救援財団 (FIDR)

株式会社カスタネット様と、私ども国際開発救援財団（略称 FIDR 「ファイダー」）とのご縁は、今から12年ほど前になりますが、FIDRの活動地であるカンボジアの子どもたちへ、植木社長が文房具の寄贈や小学校建設をお申し出くださったことから始まります。その後もカンボジアへの支援を継続していただき、最近では同国の子どもたちの健康を支える病院給食支援事業のためにご支援を賜っております。

㈱カスタネット様は、会社設立当初より植木社長の深い想いと強力なリーダーシップの下、社会貢献活動を積極的に推進しておられます。インターネットを駆使した募金の呼びかけや「カスタくん」クッキーの販売など広く一般の方々が社会貢献活動に気軽に参加しやすいよう工夫されているのが特徴です。さらに、植木社長のご著書の出版イベントをはじめ各地でのご講演などでFIDRの活動へのご協力を募っていただき、その長年にわたるご厚情には、感謝に堪えません。

FIDRは開発途上国での国際協力援助事業を実施するほか、東日本大震災の緊急・復興支援にも取り組んでいます。ミッションの一つに「日本企業と日本人による国際協力の推進」を掲げ、企業の皆様に開発途上国に対する関心と理解を深めていただき、互いの強みや資源を活かしあい、共に国際貢献に寄与してまいりたいと存じます。これからも、㈱カスタネット様とともに、世界の子どもの笑顔につながる支援を継続していただけることを願いつつ、貴社の益々のご発展と従業員の皆様のご健勝を祈念いたします。

公益財団法人国際開発救援財団 (FIDR)1990年に発足。カンボジアやベトナムなど東南アジア地域において子どもの福祉を中心とした住民の生活環境の向上及び地域開発の推進に資するための援助事業を実施し、開発途上国の自立的発展及び福祉の増進に寄与する。海外並びに日本国内における自然災害の被災者への緊急援助を実施し、社会復帰を促進する。  
 飯島理事長は山崎製パン㈱代表取締役社長。  
 東京都千代田区神田駿河台 2-1 0CCK\*43F  
<http://www.fidr.or.jp/>



公益財団法人国際開発救援財団  
理事長 飯島 誠治

## Ⅱ 社会貢献室顧問 社会貢献拡大 大作戦担当

### 1. 堀田 力さん

#### ● 特別な発想？

ボランティア活動のリーダーたちの多くは、自分たちの活動を営利活動とは峻別している。会社の社長さんの多くは、同じように、自分たちの営利活動とボランティア活動とを峻別し、会社のCSRとは、儲かる事業をする会社が、その社会的責任として、儲からないけど社会に役立つ事業も行うことだと考えている。

ところが、植木力さんの頭は違う。

両者がごっちゃになっていて、彼は、儲けることを考えていても、それがボランティアにもなることを思い付くし、ボランティアを考えていても、それが同時に儲かることにもつながることを思い付く。

そこが彼のすごいところである。

考えてみれば、営利活動もボランティア活動もその顧客（ドラッカーのいうカスタマー）は、「不特定多数の人」である。両者は、動機が違う（利己心でやるか利他心でやるか）とされているが、現実には利己心と利他心を併せ持つのが人間で、だから両方の動機で活動する方がむしろ普通の状態だといってよい。

そう考えると、特別な発想の持ち主のように思われている植木力さんが実は標準的な発想の人だということになる。

しかし、まだ標準に達しない人が実に多い。

植木さんの活躍がモデルとして貴重なのは、そのためである。

出身地 京都府。昭和33年 京都大学法学部卒業。  
昭和36年 検事任官。昭和51年 東京地検特捜部検事としてロッキード事件を担当。平成2年法務大臣官房長。平成3年退職、弁護士登録、さわやか法律事務所及びさわやか福祉推進センター開設。平成7年 財団法人さわやか福祉財団理事長(平成22年4月公益財団法人化)平成26年公益財団法人さわやか福祉財団会長。  
主な著書：「生きがい大国」(日本経済新聞社)、「中年よ、大志を掲げ!」(PHP文庫)、「『人間力』の育て方」(集英社新書)、「挑戦!」(東京新聞出版局)など多数。



弁護士  
公益財団法人さわやか福祉財団 会長



## ソーシャルビジネス研究担当

### 2. 川本卓史さん

#### ●進化し発展する(株)カスタネットに期待する

植木さんとは、(株)カスタネットを立ち上げた直後からのお付き合いになります。その間、彼の変わらぬ行動力と旺盛な好奇心に敬意を表しています。15年を振り返ると、さまざまな思い出が脳裏にうかびます。カンボジアに小学校を作るプロジェクトを支援する彼と一緒に2008年同地を訪れたこと、社会起業家という存在に興味を持って彼らを応援する活動を一緒に続け、2010年には『京都から社会起業家の波を！』と題する活動報告書を出したこと、2011年『小さな企業のソーシャルビジネス』という本を共著で文理閣から出版したこと、同年には社団法人京都ソーシャルビジネス・ネットワークを設立し、町家塾の開講を通して、社会貢献と新しい事業展開を両立させようとする人たちの支援に取り組んでいること等々です。この間、植木さんは常に、自らの事業を、身近な「社会」や様々な人たちとのネットワークを大切にしながら展開してきました。「スモールビジネス」の存在価値を、スモールビジネスこそ「ソーシャル」な存在であることを、繰り返し訴えてきました。その結果の15年です。「継続は力なり」を痛感します。「本当におめでとうございます」と申し上げ、新たな飛躍を祈ります。

同時に、当初からぶれない「企業理念」をこれからも大切にしてほしいと願います。自分の働く企業が利益だけではなく（利益はもちろん大事ですが）、困難な社会的課題の解決に貢献し「良き社会」づくりに寄与しているという意識は、何物にもまして経営者や従業員のモチベーションを高めるでしょう。そして、営利と非営利が交差し協働していく同社の姿がこれからのビジネスの在り方になると信じています。

昭和37年東京大学法学部卒、平成10年同志社大学修士（アメリカ研究）取得。旧東京銀行（現三菱東京UFJ銀行）勤務を経て京都文教大学教授（専門社会起業論）。平成22年退職。主な著書に『なぜアメリカの大学は一流なのか』（丸善）『折々の人間学—京都で考えたこと』（文理閣、第19回宇治市紫式部市民文化賞受賞）『小さな企業のソーシャルビジネス』（文理閣・共著）など。



一般社団法人京都ソーシャルビジネス・ネットワーク 理事